

1 次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)

- ① 収入と支出の均衡を保つ。
- ② 抑揚をつけて話す。
- ③ 厳かに卒業式が執り行われる。
- ④ 海外に留学して語学力を鍛える。
- ⑤ 春の公園をさんさくする。
- ⑥ 合唱曲をそうだんして決める。
- ⑦ 勝利をうたがう余地はない。
- ⑧ 小舟から釣糸をたらす。

2 別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十四点)

(一) 波線部分①～④の中には、品詞が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。

(二) 傍線部分①「涙」の「へん」を行書で書いたものとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。



(三) 傍線部分②「そう思えば思うほど、涙があふれて止まらない」とあるが、「そう思えば思うほど、涙があふれて止まらない」のはなぜか、その理由を「そう思えば思うほど」の「そう」が指し示す「わたし」の思いにふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

(四) 傍線部分③「ふっとおじいさんが笑ったのがわかった」とあるが、「わたし」が、おじいさんが笑ったことに気がついてから、おじいさんに対する「わたし」の印象はどのように変わったか、それが最もよくわかる部分を、本文中から十二字で抜き出して書きなさい。

(五) 傍線部分④「そういうことじゃあねえんだ」とあるが、おじいさんが「わたし」に伝えたかったのはどのようなことか、「そういうこと」の内容にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。